グローバル教育への取り組み

香川大学農学部

Introduction of Global Education Programs
Faculty of Agriculture, Kagawa University



国際交流協定(実施細則)締結校

International Exchange Agreements

International exchange with academic institutions is important in attaining and strengthening academic excellence. The Faculty of Agriculture has a long history of academic cooperation and has academic-exchange agreements with the following institutions:

1.	University of Dhaka	Bangladesh
2.	Sher-e-Bangla Agricultural University	Bangladesh
3.	State University of Londrina	Brazil
4.	University of Battambang	Cambodia
5.	Royal University of Agriculture	Cambodia
6.	Nanjing Agricultural University	China
7.	Tianjin Agricultural University	China
8.	Zhejiang Gongshang University	China
9.	University of BurgundyAgrosup Dijon	French
10.	Hochschule Geisenheim University	Germany
11.	IPB University	Indonesia
12.	Gadjah Mada University	Indonesia
13.	Diponegoro University	Indonesia
14.	Università di Torino	Italian
15.	Nanyang PolytechnicSchool of Chemical & Life Sciences	Singapore
16.	University of Cadiz	Spain
17.	National Chiayi UniversityCollege of Life Sciences	Taiwan
18.	National Chiayi UniversityCollege of Agriculture	Taiwan
19.	Kasetsart University	Thailand
20.	Chiang Mai University	Thailand
21.	Maejo University	Thailand
22.	Chulalongkorn University	Thailand
23.	Assumption University of Thailand	Thailand
24.	Silpakorn University of Thailand	Thailand
25.	Middle East Technical University	Turkey
26.	University of Nottingham	United Kingdon
27.	Michigan State	United States
28.	University of California, Davis	United States
29.	Hanoi University of Science and Technology	Viet Nam
	Ho Chi Minh City University of Technology	Viet Nam

留学生受入れ状況 Status of International Students accepted

On 1st May, 2022, Faculty of Agriculture and Graduate School of Agriculture accept 31 International students. 38.7% of students belong to Master course and 32.3% to Ph. D course at United Graduate School. 45.2% of students are supported by the scholarship by Japanese Government.

Tailand	6	Ghana	1	Bachelor course	9		
Indonesia	3	Myanmar	3	Master course	12	49.0%	
Bangladesh	4	Taiwan	1	Ph. D course	10	43.1%	
China	6	Papua New		Total	31		
Vietnam	1	Guinea	1				
Korea	1	Malaysia	3	(1 st May, 2022)			
		France	1				

「アジア・アフリカ環太平洋留学生特別コース」

Special Course for International Students from Asia, Africa and the Pacific Rim

(Master course/ABE Initiative, United Graduate School Doctor course)

本プログラムは、アジア・アフリカ環太平洋地域からの留学生を受け入れ、すべての授業や研究指導を英語により行う大学院プログラムです。現在、私費外国人留学生の受入れの他、アフリカ人材養成プログラム(ABEイニシアティブ/JICA長期研修員)の受入れプログラムとして承認を受け、アフリカ各国(南スーダン・モザンビーク)からの留学生が学んでいます。









「日本の食の安全特別コース」

Career Development Special Program for Food Safety in Japan (Master course)

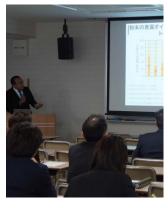
平成21年度、経済産業省と文部科学省の共同事業として始まった「アジア人財資金構想」高度専門留学生育成事業からスタートし、平成24年度からはプログラムの自立化に成功し、グローバル化する日本の食品産業を支える食の安全・健康推進教育の日本で唯一の産学連携プログラムとして、コンソーシアム企業や四国経済産業局の支援を受けながらプログラムの管理・運営を行っております。日本の食の安全人材育成プログラムは、香川大学において「日本の食の安全」の観点から食品企業とコンソーシアムを形成し、作物の育成・収穫から加工・流通・販売に至るまで総合的に食の安全に必要な能力を身につけた人材の育成、高い日本語能力を有し、かつ日本文化を正しく理解した国際人、そして経営感覚を身につけ、将来企業幹部となりうるグローバル人材の育成をしています。













日本・インドネシア6大学イニシアティブプログラム Six University Initiative Japan Indonesia (SUIJI) Program

International Service Learning Program

サービスラーニング プログラム 2019年インドネシア3大学(ボゴール農業大学、ガジャマダ大学、ハサヌディン大学)と四国3大学(愛媛大学、香川大学、高知大学)が連携し、実施しているSUIJI(Six University Initiative Japan Indonesia)の国内サービスラーニングを行いました。 8月16日(金)にインドネシア学生が来日、8月18日(日)から日本人学生と共に四国内の各サイトへ移動し、香川大学が担当する小豆島サイトでは学生15名(日本学生9名、インドネシア学生6名)が8月18日(日)から8月28日(水)まで小豆島で活動しました。

その後、インターナショナルオフィス長表敬訪問、讃岐うどん・パン作り、農学部の見学等を 行った後、修了式にてプログラム修了証書を研究科長より授与された。

その後、各サイトの学生86名が集合し、それぞれの活動を報告しました。







日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)

Exchange Program of Science for youth(Short Stay for Young International Scientists)

独立行政法人科学技術振興機構(JST)

香川大学農学部では、平成31年7月15日から7月24日、タイ王国からチェンマイ大学教員1名、カセサート大学教員1名、研究者1名、チュラロンコン大学教員1名、ベトナム社会主義共和国からハノイ工科大学教員1名、ホーチミン市工科大学教員1名、中国人民共和国から浙江工商大学教員1名、南京農業大学大学院生1名を招へいし、プログラムを実施しました。食品製造実習では、食品の安全が重要で有りますが、日本の伝統食品と大量生産を目的とした大企業の取り組みでは若干異なるため、日本の食品産業を理解するため、機械化による大量生産の例として日本食研、地場産業として、小豆島のそうめん製造、オリーブ新漬け、醤油製造などを見聞しました。

日本の機能性食品開発の現状と香川大学の取り組む抗アレルギー食材、抗肥満食材の解明などこれまでに得た実験データの紹介を行ない、将来の共同研究のきっかけ作りとしました。









食の安全・機能解析教育に関する東南アジア等の大学間体験学習型派遣プログラム International Exchange and Educational Program for Food Safety (Short Visit for Undergraduate and Graduate Japanese Students)

日本学生支援機構(JASSO)の海外留学支援制度

2019年9月15日から9月27日までの13日間、タイ・バンコクにおいて11回目の国際インターンシップ (タイ・カセサート大学、シラパコーン大学など)を実施しました。JASSOや農学部後援会などからの支援を受け、農学部2・3・4年生と修士1・2年生の合計16名が参加しました。

カセサート大学でのインターンシップは、水産学部の国際共同教育プログラム(1単位)として、カセサート大学農産学部の3・4年生8名と協働学習形式で、実施されました。開校式後、英語で、食品の安全性、機能性、保存及び食品製造についての講義を受けました。また、豆乳缶詰の製造やスナックの製造とその物性測定などの実習も受けました。さらに、タイに進出している日系食品会社スラポンニチレイの冷凍食品工場を訪問し、海外で日本に輸出される食品の製造現場を見学しました。最終日には、試験が行われ、試験に合格した学生には、カセサート大学水産学部から1単位が授与されました。香川大学の学生とカセサート大学の学生が共に机を並べ、双方刺激を受けながら学び、交流を行いました。試験終了後は、タイで有名なチャトゥチャック・ウィークエンド・マーケットへタイの学生と共に行って買い物の手伝いをしてもらいながら交流を深めました。

2週目は、タイの伝統的文化施設の訪問した後、バンコク近郊のシラパコーン大学に移動し、乾燥フルーツの講義と実習を行いました。また、希少糖を研究している研究室の見学などを行いました。

参加した学生は、この2週間で大いに成長し、「カセサート大学では、タイの学生と意見交換しながら授業を受けることができて良かった」「海外の大学を訪問することで、日本を客観的に見つめるきっかけになった」「商品開発や企業の考えなど香川大学では学べないことを学べた」などの声が聞かれました。今回の国際インターンシップ参加を契機に、長期の海外留学や修士課程への進学を考えるという学生が複数名おり、香川大学のグローバル化に大いに寄与するプログラムであったと考えています。









香川大学帰国留学生ネットワーク Alumni Net Work of International Students

香川大学では、帰国留学生と本学と帰国留学生間の交流促進を目的として、香川大学帰国留学生ネットワーク(香川大学留学生同窓会を概ね2年に1回程度実施しています。)

帰国留学生ネットワーク タイ支部

バンコク市にて開催された、帰国留学生ネットワーク第1回、第2回総会に続き、平成29年3月14日に、チェンマイ市にて第3回総会が開催されました。

週日の開催にも関わらず20名近い帰国留学生が参加して、懐かしい香川大学での思い出話や近況報告で盛り上がり、本当に楽しい一時を過ごしました。香川大学で学んだ元留学生が大学や企業などで大いに活躍している姿に、香川の地で一緒に学んだ我々にとって嬉しく、誇らしく深く感動しました。

これまでのタイからの香川大学農学部への留学生は、学位取得者・長期滞在を合わせると130名を越えています。今や、タイからの留学生は第三世代となり、まさに世代を越えた交流が続いています。



帰国留学生ネットワーク 中国支部

2018年7月27日(金)、香川大学帰国留学生ネットワーク中国支部第5回総会が、広州市コンラッドホテルにおいて合計30名の出席で開催されました。徳田副学長・インターナショナルオフィス長と一井元学長(名誉教授)から祝辞があり、佐藤経済学部長、今井田医学部教授、姚経済学部教授、ロン副オフィス長、田島名誉教授、早川名誉教授などから香川大学や各学部の状況と各教員の近況と感想を兼ねたあいさつがありました。その後、中国帰国留学生18名から近況と留学当時の懐かしい思い出話が出され、楽しく歓談できました。今回は経済学部出身者の出席が多くみられ、全学的に交流が進んでいることがうかがわれました。さらに広い分野での交流がこれからも期待されます。総会後は懇親会を行い、親しく旧交を温めることができました。翌日はエクスカーションで千年古道や南越王宮博物館などを見学し、同窓生とともに中国の歴史を強く感じさせるひと時を過ごしました。徳田副学長の総会冒頭でのあいさつ「楽しい会にしましょう」のとおり、和気あいあいとした雰囲気で楽しく同窓会を持つことができました。

